

【別紙様式】

課題名：「観葉のまち指宿」の産地化に向けた支援

所属名：南薩 農政普及課指宿市十二町駐在
発表者名：黒木 徹也

＜活動事例の要旨＞

指宿市は、観葉植物の全国有数の産地であるが、単価の低迷や輸送コスト・生産コストの増加、担い手の高齢化や後継者不足等、産地の維持発展が課題となっていた。

そこで、指宿市十二町駐在では、平成30年度に「観葉植物の産地活性化」に向けた課題整理とその対策について、関係者で検討した。その結果、知名度向上と販路拡大対策が重要であると考え、令和元年度に設立された観葉植物生産者部会や関係機関からなる「観葉のまち指宿協議会（事務局：市）」と連携して、これらの課題解決に取り組み、産地の活性化につなげた。

1 活動の課題・目標と策定過程

(1) 課題・目標と設定理由

ア 支援体制の整備・強化

J A観葉部会の共販額が減少傾向にあり、売上低迷を打破するために産地の課題を共有化し、目標設定を行うための支援体制整備が必要であった。

イ 観葉植物の地域ブランド化に向けた支援方策の検討（調査研究）

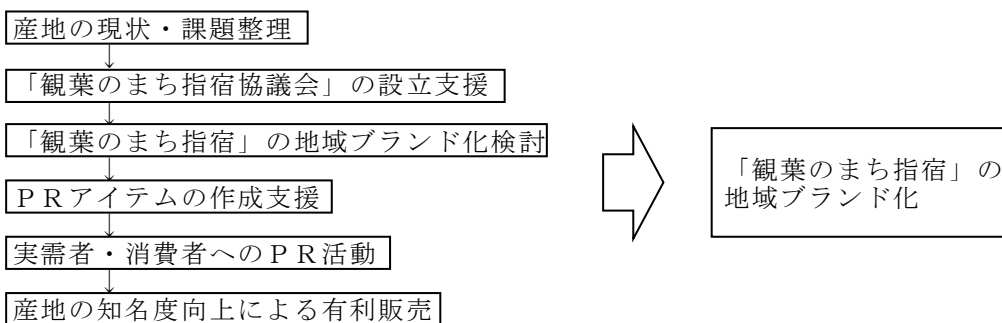
「観葉のまち指宿」の産地化に向け、現状把握や課題を整理し、解決方策を検討する必要があった。

ウ 「観葉のまち指宿」の活動支援

PRアイテムを活用し、PRイベントや販売会等で産地認知度を向上させる具体的な取組が必要であった。

(2) 取組計画

実需者・消費者から「選ばれる産地」になることを目標とし、生産者の所得向上を目指すための取組計画を立てた。



2 普及指導活動の内容

(1) 課題及び目標の達成状況とその要因

ア 支援体制の整備・強化

実需者・消費者から選ばれる産地になることを目標に、関係機関・団体及び地域農業リーダーと一体となって、「観葉のまち指宿協議会」の設立を支援した。

イ 観葉植物の地域ブランド化に向けた支援方策の検討

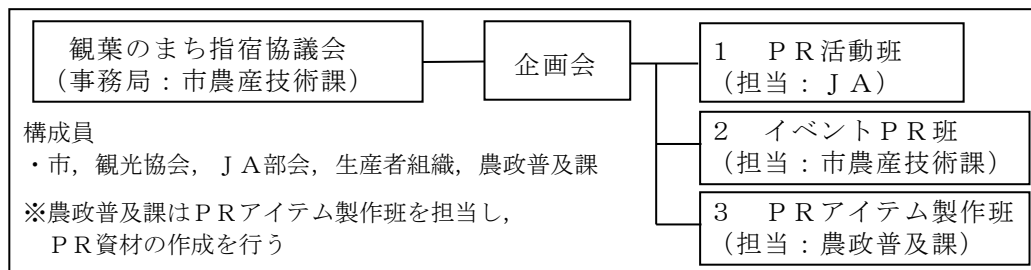
産地の現状把握、課題の明確化のため、関係者や生産者らとマンダラートやSWOT分析による産地の現状把握や課題を整理した。結果、「観葉のまち指宿」の魅力の発信やPR活動を推進することが必要であると分かり、客層（ターゲット：30～40代の女性）の設定や、ロゴマークやキャッチコピーの検討を行い、具体

的活動を支援した。

ウ 「観葉のまち指宿」の活動支援

地域農業リーダーや関係団体が主体的に各種イベントに参加し、PRアイテムを用いてPR活動を行うための支援を行った。

(2) 指導・支援の体制



3 普及指導活動の成果

(1) 課題及び目標の達成状況とその要因

ア 支援体制の整備・強化

「観葉のまち指宿協議会」と連携し、産地の課題の共有化を図り、目標設定を行うための支援体制整備ができた。

イ 観葉植物の地域ブランド化に向けた支援方策の検討

ターゲットに対して園芸タグを作成し、生産者と消費者が交流できるようにした。タグは表面にはキャッチフレーズ（みどりに恋を。観葉のまち指宿）とロゴマーク、裏面には観葉のまち指宿のHPに誘導するQRコードを印刷し、観葉植物に取り付けてPRした。

ウ 「観葉のまち指宿」の活動支援

農政普及課はPRアイテム製作班を担当し、チラシ、ポスター、のぼり等の作成やHPのリニューアル等を行い、産地PR動画の作成を支援した。R4年2月、「観葉女性部Ms.の会」を再結成し、「観葉のまち指宿協議会」とともに、展示会・販売会等の活動を行い、「観葉のまち指宿」を県内外に広くPRできるよう、SNS研修会や消費地への視察研修を企画し、指宿の観葉植物の販売状況等を見える機会を持たせた。

エ 観葉植物の品質向上に向け、若手農業者の組織である（緑のアイディアクラブ（MIC））を中心に、病害虫や用土等について勉強会を開催した。

(2) 活動に対する生産者・農家の評価

観葉のまち指宿協議会の活動を通して、生産者各々が産地を盛り上げようとする意識が向上し、各種イベント等への出展を通して、消費者の声を直接聞くことができ、今後の経営発展の参考となった。

(3) 地域農業振興への貢献

PRアイテムやSNS活用による産地PRを通して、観葉のまち指宿の知名度向上に貢献し、JA観葉植物部会の令和3年度共販額は過去最高の13億円を突破した。

4 今後の普及活動に向けて

(1) 今後の課題

市内の既存イベントやホテル、JR等の観光と連携した観葉植物によるPR活動等を行うことで、「観葉のまち指宿」の認知度を向上させ、消費拡大につなげる。

(2) 今後の活用に向けて

「観葉のまち指宿」の産地の発展を目指して、魅力あふれる観葉植物の栽培・生産の推進とSNSを活用したPR活動を進めるとともに、観葉のまち指宿協議会と連携し、指宿地域一体となった産地活性化を図る。